

2025年度 ピーターパン幼稚園 事業報告

1 法人運営事業

法人運営については、理事会、評議会を中心として法人の円滑な運営に努めました。理事会、評議会の開催状況は別紙議事録を参照下さい。

平成27年度から内閣府によって導入された子ども子育て新制度に移行し、幼保連携型認定こども園としてスタートし、2025年度も順調に運営されました。

コロナウイルスの感染拡大は収まって来たもののインフルエンザ、ノロウイルス等感染症の罹患率が高い1年でありました。

昨年度発足した子ども家庭庁の動向(子ども誰でも通園制度)は引き続き注意深く見守ってきました。星槎の三つの約束「人を排除しない・人を認める・仲間を創る」を大切にし常に意識してきました。

2 ピーターパン幼稚園の事業

☆ 建学の精神

「三つ子の魂百までも」という教えにもありますように、人間形成の基盤を培う大切な乳幼児期です。

私達は子ども達に柔軟で適確な対応をする力と、人間味あふれる感性豊かな心を育てなければなりません。

そして、21世紀に活躍する子ども達が、社会の複雑な諸現象の中で、様々な環境・様々な人々と関わる時、何事に於いてもゆとりを持ちながら、広い視野のもとに、主体的・創造的な意欲を持って臨めるように成長して欲しいと願っています。

その為に子ども・親・教師が三位一体となって、毎日積み重ねられていく生活を大切に考え、お互いにその教育力の効果を高め、将来への礎を築いていけるように努めました。

☆ 教育目的

乳幼児ふさわしい環境を与え、そこで幼児を生活させ、一人ひとりにとって望ましい方向に心身の発達がよりよく促進されるように導きました。

☆ 教育の目標「五つの柱」

丈夫な身体……健康第一をモットーとし、息をはずませ、汗をかき、毎日行われる行進、外遊びで体力、気力を養う。

素直な心……子どもの持っている純粋な気持ちを大切にしつつ、動植物を愛し、天真爛漫で誰からも愛されるような子どもを育成する

考える頭……子どもの探究心を満足させ、想像力を広げながら様々な感覚を磨き、考えようとする姿勢を養う。

生活習慣……元氣一杯の挨拶、衣服の着脱や食事のマナー等、基本的な生活習慣を身につける。

安心安定した……一人ひとりの気持ちを大切に、情緒の安定を図りながら生活リズムを整える。

※平成30年度から新教育要領に改訂され、小学校に向けて、幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の望ましい姿と教育目標を各活動に絡み合わせる。

・SDGsへの取り組み

☆ 教職員の状況 (2026年3月1日現在)

職名	人数	資格等	その他
常任理事事務	1	保育園施設長幼稚園教諭	理科中高教諭免許・カウンセラー資格
園長	1	幼稚園教諭・保育士	カウンセラー資格・特別支援児・預り保育・支援教員
副園長	1	幼稚園教諭・保育士	カウンセラー資格・特別支援児・預り保育・支援教員
主幹主任	1	幼稚園教諭・保育士	カウンセラー資格
幼児主任	1	幼稚園教諭・保育士	カウンセラー資格
乳児主任	1	幼稚園教諭・保育士	カウンセラー資格
常勤保育教諭	6	幼稚園教諭・保育士	カウンセラー資格・特別支援児・預り保育・支援教員
パート保育教諭	17	幼稚園教諭・保育士	カウンセラー資格・特別支援児・預り保育・支援教員
常勤調理師	1	調理師	調理・発注

常勤栄養士	1	栄養士	
パート看護師	3	看護師	
パート調理員	3	調理員	
常勤事務、庶務	1		
パート事務庶務	2		
パート用務庶務	1		
パート運転手他	1	大型運転免許	
計	42		

☆ 在園児数(2026年3月1日現在)

学年	クラス	在園児数
0歳児		4
1歳児	1	11
2歳児	1	14
満3歳児	1	12
3歳児	2	29
4歳児	2	39
5歳児	2	39
計	9	148

☆ 年間の活動計画と主な行事は年度初めに計画しました。

☆ 子育て支援事業

こども園の環境が整い、この環境を広く子育てをしている地域の方へも活用して頂きました。
園庭開放は未就園児の活動の拡大さらには、入園園児の獲得にも繋がりました。
子育て支援相談実施。H26より県私幼協会のカウンセリング拠点として継続2025年度は相談件数も
増え、駿豆地区の子育て支援事業「子育てフェア あそびの広場」が実施されました。

☆ 特別支援児の受け入れ事業

昨年と同様に補助教員を配属し、園児全体に人との関わりを充実させ、共生の中、
豊かな人間性を育め合えるような保育活動となるよう配慮しました。

☆ 交流活動の充実を図る

園児も教職員も様々な人と直接関わり、社会性を育めるよう環境を整えることができました。
・保護者のボランティア活動を通し、より多くの大人との交流を図ることができました。
・地域にある高齢者の入所福祉施設に訪問し、高齢者との交流を図る活動を再開しました。
・地域の小学校・中学校・高校との交流活動で様々な年齢層の方々と関わりあうことができました。
・教育実習生の受入をし、研修生との豊かな関わりを体験できました。
・2025年度も就活の学生をインターンシップとして受け入れた。
・2025年度、スマイルティンクルOB保護者のボランティア活動を本格的に再開できました。。

3 運営上の留意事項

☆ 危機管理について

感染症も多発したが、2025年度も保育計画を工夫しながら柔軟に保育活動進めて行ないました。
あらゆる災害から園児を守るための安全管理に努め、園児自らも事態に応じて安全な行動
が取れるように指導した。特に災害が発生した時帰宅困難になった場合を予想し、新たに市販の離乳食を
通常の給食に取り入れ、更に年間での学校安全計画を実施しました。
2011年度に新園舎になって14年目の年度となる。全活動に対して更に十分な配慮と調整をして自然への
興味関心に繋がられるよう植栽の充実も図り、更に、年度はじめ園舎内点検を行い必要に応じてメンテナンス
を行いました。

☆ 健康管理について

園児・教職員の健康診断を実施し、日々健やかに生活できるように、健康管理と衛生面に留意しました
感染症の予防や感染拡大を予防するために対応を状況に合わせ進めたが、2025年度はインフルエンザ
の感染者が急激に増加したため園医と相談の上、2度学年閉鎖をし感染拡大を未然に防ぐ事ができました。
・ナースによる手洗い指導
・日々の体力作りを励行
・園児健康診断の実施
・教職員の健康診断の実施

- ・園児歯科検診の実施・歯みがき指導の講習
- ・身体測定の実施
- ・体力測定の実施
- ・子ども体育研究所による足裏測定

☆ 教職員の資質向上研修について

- ・園内・園外の研修に参加し、研鑽を積み資質向上に努めました。
- ・年度毎に園内研修テーマを設定し、研修しました。
- ・特に園外研修についてはキャリアアップ向上を目指し参加の上、各自研鑽できました。
- ・小学校との交流を深め、幼少の連携を強化しました。

☆ 保護者との関わりについて

- 家庭との連携を図り、相互理解の基、子ども、親、教職員の三位一体のより良い保育活動の充実が図れるように努めました。
- ・園便りを毎月発行
 - ・乳児部便り、学年便りを毎月発行しこどもの横顔を掲載。
 - ・園児居住地域調査、クラス懇談会、個人面談、保育参観の実施。
 - ・各家庭との連絡帳の確認と記入を適宜実施。
 - ・父母会活動内容の見直し。
 - ・保護者のボランティア活動との上手な連携。
 - ・前期、後期、個人の生活記録を保護者に配布し、保護者からの所見も今後の指導の参考とする。
 - ・じゃがいも掘り、サツマイモ掘り、ラデッシュの栽培をし食育の講話を通して実践的な活動を楽しむ。
- また、保護者向けの講習会についても楽しい活動が出来た。

☆ 苦情処理について

- ・第三者委員の協力を得て、引き続き園運営については順調に展開するように努めました。
 - ・苦情処理マニュアルに則り、運営に当たり、問題の解決に速やかに対処しました。
- ※2025年度、特に問題になる苦情はありませんでした。

☆ 実態調査(静岡県)

- ・静岡県の実態調査が行われたが問題になる、指摘や指導はなかった。
- ・2025年度、保健所による衛生確認の立入検査に於いて調理室の温度について改善提案の中クーラーを設置した。